

県民の森の植物 62 フッキソウ (ツゲ科フッキソウ属)

常緑小低木。茎が木質化せず地面を這って先が立ち上がり、高さ10～30cmの高さなので、野草のように見え、図鑑によっては多年草とされています。常緑の葉が生い茂る様子から「繁栄」を象徴する植物として「富貴草」(フッキソウ)と名付けられました。葉っぱが菱形に近い楕円形で、光沢があり美しく、グラウンドカバープランツとしても人気があります。県民の森では4～5月頃、花が咲きます。ブラシ状の白い花に見えますが、よく見ると花卉のない小さな花が集まっています。白いのが雄花、雌花は花柱の基部の先が二つに割れたものです。秋に出来る丸い実は、透明がかった白色で美しい宝石のようです。冬は雪布団の下に埋もれて暮らしています。七滝登山道などで見られます。



フッキソウ花 2022年5月8日



フッキソウ葉 2022年10月7日



フッキソウ実 2022年10月7日



フッキソウ花芽 2022年11月9日